

令和7年度 学校総合評価

6 今年度の重点目標に対する総合評価

「自律、鍛錬、信愛」の校訓のもと、「豊かな心と健やかな体で、学問・スポーツ・芸術に打ち込み、志を高く、世界を見つめる人間を育てる」という本校の教育目標を達成するため、「進路目標の実現」と「社会性の育成」を柱とした教育計画の中から、今年度、重点的に取り組む5項目の課題を設定した。これらの課題の解決に向けた方策と達成目標を具体的にした「アクションプラン」を、本校のホームページに掲載し、生徒や保護者への周知を図った。これにより、生徒の意識を高めるとともに、保護者の皆様のご協力を得ながら進める取り組みとなるよう努めてきた。

(1) 学習活動（学習指導）

学習習慣の確立を重点課題とし、ICT活用や教員研修により授業の理解度・関心は向上したが、自学の定着に課題が残る。今後は、学習時間と学力の相関提示や成功事例の共有を通じ、生徒が主体的に学習量を増やす環境改善を図る。ICTを一層活用し、進路実現の可能性を広げたい。

(2) 学習活動（国際理解教育）

SETプログラムや語学研修、友好校受入れにより、9割以上の生徒が高い充実感を得る成果を上げた。今後は評議員の意見を活かし、語学検定の推進や関係活動の改善で客観的な実力向上を図る。社会情勢や生徒の多様化を鑑み、持続可能な交流形態を検討しつつ、国際交流科としての特色ある教育を継続していく。

(3) 学校生活（生徒指導、保健衛生）

生徒主体の校則見直しや顕彰制度を通じ、規範意識は9割超と極めて高い。今後は校則の意義への理解を深め、自主的な遵守を促す。保健衛生面でも委員会活動が活発で、美化意識が向上した。次年度は実態把握に努め、食事や睡眠等、健康保持の主体的な意識向上をさらに推進していく。

(4) 進路支援

早期の進路目標明確化に注力し、2年次のオープンキャンパスや面談を通じた動機付けが奏功した。3年次も粘り強い指導と補講により、9割以上の生徒が満足のいく進路を実現し、高い評価を得た。今後は報告書の共有方法を工夫し、進路変更にも柔軟に対応できる個別指導を継続し、自己実現を支援する。

(5) 特別活動（地域交流活動、読書指導）

SNS発信により地域活動への参加率と充実感（96%）が向上した。今後は防災観点での意義周知や外部発信を強化する。読書面では、朝読書や図書委員の主体的な広報により意欲が向上（85%）した。助言に基づき、生徒の関心に沿った選書紹介や共有の場を工夫し、さらなる習慣化を図る。

7 次年度へ向けての課題と方策

今年度は「主体的学び」を軸に全教育活動を推進した。学習面ではICT活用や教員研修により授業への関心が高まったが、自学習習慣の定着に課題を残した。国際理解教育では海外研修等で9割超の充実感を得る一方、語学検定による客観的な実力向上を図る必要がある。

生徒指導・保健衛生面では、生徒主体の校則見直しや委員会活動が功を奏し、高い規範意識と美化意識を育んだ。進路支援も早期の動機付けにより、9割以上の生徒が満足のいく進路を実現した。特別活動ではSNS発信による地域交流の活性化や、朝読書の定着（85%）に成果が見られた。

次年度は評議員の助言を活かし、学力と学習時間の相関提示や防災観点での地域連携を強化する。生徒の多様化や情勢変化に柔軟に対応しつつ、本校独自の特色ある教育活動を深化させていく。